

3.31以降追加事項有 要確認

競技注意事項

1. 競技規則について

2026 年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則および競技注意事項に則って実施する。

2. 練習について

- ① 前提として、安全に十分配慮し、事故の無いよう注意するとともに、使用した用器具は各自が責任を持って片づけること。
- ② 下表のとおり、天候に応じて補助競技場、100m 屋内雨天走路、投てき場を使用することができる（下表参照）。なお、ダッグアウト横走路は競技運営エリアのため使用できない。

	補助競技場	100m 屋内雨天走路	ダッグアウト横走路	投てき場
晴	○	×（棒高跳のみ可）	×	○
雨	○	○	×	○

- ③ 補助競技場のレーンは下表のとおり使用すること。

縁石より内側	ウォーキング
1・2 レーン（周回）	中長距離系（ジョギング～レーススピード）
3～8 レーン （ホームストレート）	短距離系（スプリント～スタートダッシュ）、動き作り
	※1 日目 11:00～ 6・7 レーンは女子 100mH 専用 11:15～ 5・6 レーンは女子 100mH、7・8 レーンは男子 110mH 専用とする。
3～8 レーン（周回）	短距離系（リレー含む） 中長距離系（レーススピード～スプリント）
	※2 日目 開門～9:10 5・6 レーンは女子 400mH、7・8 レーンは男子 400mH 専用とする。

- ④ 補助競技場レーン内での逆走および静止（立ち止まる）、不注意なレーンの横断は禁止とする。
- ⑤ 補助競技場芝生内において、芝生を傷める用器具（ハードルやラダー等）の使用は禁止とする。
- ⑥ 投てき競技種目の練習は、投てき場にて下表の時間に行うことができる。なお、砲丸投は競技用ピット以外を使用し、やり投は芝生内のみを使用すること（砲丸投競技中のため）。

	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
1 日目	開門～ 招集開始時刻まで	×	開門～ 砲丸投招集開始時刻 まで	砲丸投招集開始時刻 ～ 女子やり投招集開始 時刻まで
2 日目		開門～招集開始時刻 まで		

3. アスリートビブスについて

- ① アスリートビブスは各自で準備すること。本連盟加盟校の大学生は、本連盟が配布した 2026 年度のビブスを使用すること。一般および高校生は、エントリーの際に入力したナンバーのビブスを使用すること。
- ② 男女 5000m、男子 10000m については、招集完了時刻の 1 時間前までに招集所に上記①のアスリートビブスを持参して本人確認を行った後、招集係より配布されたレーンナンバービブス（1 枚）を競技用トップスの前面に取り付け、背面にはアスリートビブスを取り付けること。
- ③ トラック競技に出場する競技者は、招集所にて腰ナンバービブスを受け取り、シューズまたは下半身の右側面に取り付けること。
- ④ 跳躍種目については、競技用トップスの前面また背面の片方だけで構わない。

4. 招集について

- ① 招集所は第 1 ゲート内（100m スタート後方）に設置する。跳躍競技は、各種目の競技場所（ピット）にて行う。
- ② 招集時刻は、競技日程に記載のとおり行う。招集完了時刻に遅れたものは欠場とする（当該種目のみ）。
- ③ 同時刻に複数種目に出場する場合は、多種目同時出場届（招集所に用意）を招集所に提出すること。
- ④ リレー競技は、オーダー用紙（招集所に用意）を記入し、招集完了時刻 1 時間前までに招集所に提出すること。出場するメンバーは、他種目にエントリーしている競技者であれば出場可能であるが、少なくとも 2 名は当該リレー種目に申し込んだ競技者でなければならない。
- ⑤ 競技で使用するシューズのソールの厚さを確認することがある。規則に違反するシューズの使用が疑われた場合には、審判長が個別に確認することがある。
- ⑥ ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD プレーヤー、トランシーバーや携帯電話などの機器を競技場に持ち込むことはできない。

5. フィールド競技について

- ① 走幅跳、三段跳、投てき競技の試技数は3回とする。
- ② 走幅跳は、組によってA・Bの2つのピットに分けて行う（下表参照）。

	男子走幅跳				女子走幅跳	
組	1	2	3	4	1	2
ピット	A	B	A	B	A	B

- ③ 三段跳のピットと踏切板の位置は、下表の通りとする。審判長の判断により、競技者のレベルに合わせて距離を変更する場合がある。

	男子三段跳		女子三段跳	
ピット	A	B	A	B
踏切板位置	10m	11m	8m	9m

- ④ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になるまでは下表の通りとする。練習のバーの高さは、競技者のレベルに合わせて審判長が判断する。

種目	種別	練習の高さ	開始の高さ	上げ幅	以降
走高跳	男	1m35 / 1m70	1m40	1m90 まで 5cm 刻み	3cm
	女	1m25 / 1m40	1m30	1m50 まで 5cm 刻み	3cm
棒高跳	男	2m40 / 3m50	2m60	4m00 まで 20cm 刻み	10cm
	女	2m00 / 2m80	2m00	2m60 まで 20cm 刻み	10cm

- ⑤ 投てき競技は、投てき場にて行う。

6. 競技用器具について

- ① 競技用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない（棒高跳のポールは除く）。
- ② 投てき用器具については、事前の検定に合格した物に限り使用を認める。検定を受ける場合は、競技開始1時間前までに第1ゲート側の用器具庫に持参して検定を受けること。なお、検定に合格した用器具は、出場者全員で共有するものとし、競技終了後に返却する。

7. 抗議について

- ① 競技結果または競技中の行為に関する抗議は、当該種目（組）の正式結果発表後30分以内に、競技者本人または代理人より、審判長に対して口頭で行わなければならない。
- ② 審判長の裁定に不服の場合は、上訴申立書と預託金2万円を添えて上訴審判員に上訴することができる。なお、この預託金は上訴が受け入れられなかった場合は没収される。

8. その他

- ① 競技中の発病・負傷に対して、主催者は医務員による応急処置は行うが、責任は負わない。2026年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているため、この保険が適用される場合がある。
- ② 集団での応援は、本競技場バックスタンドおよびサイドスタンドでのみとし、メインスタンドでは禁止とする。本競技場スタンドおよび補助競技場でのテントの設営は禁止とする。本競技場内に横断幕や旗等を取り付ける場合は、スタンド最前部以外の場所に取り付けること。
- ③ ごみは各自で持ち帰ること。
- ④ 大会期間中、シートやテントを本競技場コンコースに置いておくことは認めるが、紛失、破損等について主催者は責任を負わない。
- ⑤ 競技場および周辺の施設・用器具を破損した場合、発生した修理費用等を請求する。
- ⑥ 両日とも、開門時刻は 7:00、閉門時刻は 18:00 とする。

3.31追加事項

スタートリストの変更のリクエストについては、誤って他種目にエントリーしてしまった（例、投てき競技の重量の誤選択）等の場合を除き、原則受け付けない。
変更を希望する場合は、具体的な理由とともに、本連盟にまでメールにて申し出ること。
本連盟にて協議し、変更の可否について判断する。